

要旨

研究目的 クリティカルケア領域の急性・重症患者看護専門看護師(以下 CCNS とする)の臨床場面のチームビルディングにおける判断、支援、能力を明らかにする。

研究方法 CCNS 8 名を対象とし、得られた語りを分析する質的記述的研究を選択した。研究協力者である CCNS に半構成的面接調査を行い、逐語録をおこし、得られたデータから研究目的に合った文章に関連する記述に着目し逐語録全体を繰り返し読んだ。そして、チームビルディングにおける判断、支援、能力に関する記述を抽出し、記述の中から内容を適切に表現するコード化をつけた。コードからサブカテゴリ、さらに上位のカテゴリを生成した。カテゴリと他のデータを比較し、カテゴリの様相を明らかにした。

研究結果 CCNS がチームで介入が必要とした判断は、【家族/医療者・医療者間のコミュニケーションが悪くお互いを理解できていない】、【患者が生命の危機的状態であることを家族が理解できていない】、【治療やケアの停滞がある】、【医療者が患者の理解や倫理的な判断に困難を感じている】、【患者の権利が脅かされている】の 5 カテゴリを抽出した。

CCNS がチームメンバーに行った支援として、【チームで問題を解決するためにチームメンバーの役割を明確にする】、【チームメンバーに理解を得てチームの方向性を明らかにする】、【医師と患者・家族の情報を共有する】、【看護師が個別性の高いケアを立案するため他職種の意見を取り入れるよう支援する】、【チームの効果を評価しチームメンバーにフィードバックする】、【チームメンバーの思いに共感し、チームの関係を良好に保つ】、【チームメンバーで家族ケアが行えるように働きかける】、【看護師と患者・家族の情報を共有し問題点を明確にする】、【チームメンバーとの情報共有の場を設定し、問題点を共有する】、【問題解決のためシステムや組織の考え方を見直す】の 10 カテゴリを抽出した。CCNS がチームビルディングを行うために必要とした能力は、【専門性の高い実践力とそれを説明できる言語化能力】、【チームメンバーを尊重し、アサーティブな関係を築く能力】、【コンフリクトから協働へと導くコミュニケーション力】、【倫理的問題や看護ケアの質向上に影響を与える組織の問題を分析する能力】の 4 カテゴリを抽出した。

結論 各カテゴリの関係性を検討した結果、CCNS のチームビルディングの判断、支援、能力は、4 つの能力を基盤として、倫理的問題や医療者のコミュニケーションの問題から治療やケアが停滞すると予測されることに対して、チームメンバーの思いに共感し、チームの関係を良好に保ち、問題解決のためシステムや組織の考え方を見直すための支援を行いつつ、チームビルディングのプロセスに沿って行うことが明らかとなった。